



「いっさんじゃい！いっさんじゃい！」のかけ声で大浜へ
繰り出す『ちょうさ』（太鼓屋台）日和佐八幡神社秋季例祭

美波町 議会公報

主な内容

- 住宅使用料滞納は約1,165万円！
..... 4
- 新病院・診療所体制、分かる
..... 6
- 来年3月1日から病院連絡バス運行
..... 7

第38号

平成27年9月定例会



決算後に工事費 530 万円 未払い発覚

平成 26 年度決算審査の内容

総務産業建設委員会決算審査

町長の 提案理由説明

恵比須浜漁港係船護岸補修工事（平成26年度実施）の請負費530万4160円が出納閉鎖後の27年6月15日に未払いであることが発覚した。既に平成26年度決算が確定しており、業者に支払うためには平成27年度予算で対応する必要がある、6月22日付で専決措置を講じた。

なお、今回の事を重く受け止めた事務処理に関わった職員2人と担当課長に私より厳重注意を行い、再発防止策を講じるよう指示した。

監査委員の意見

平成25年度繰越事業において工事は26年3月31日に竣工したにも関わらず支出伝票が出来ておらず、工事代金が未払いのまま平成27年度に入り処理した。通常あつてはならない事で、課のチェック連携に問題があると思う。今後改善されたい。



質疑 北山議員

これは、地方公務員法第29条第1項第2号に当たらないのか。今まで確認をどのようにしていたのか。次に、再発防止策はどのようなものになったのか。

答弁 山路副町長

職務上の義務に違反し、また職務を怠った場合（地方公務員法第29条第1項第2号）に該当するが、町に對する損害はないので、今回は懲戒に当たらない。ただ、あつてはならないこと

で、事務処理に関わった職員2人と担当課長に町長から厳重注意を行った。再発防止策は、建設課に限らず他の課にも起こりうる。再度、事務内容を点検し、こういうことが起こらないような手立てを指示した。

答弁 鶴木建設課長

事業担当者が支払処理まで責任を持って努める。課長は支払完了の確認に努める。以上の事を徹底し再発防止に努める。

質疑 監査委員は、町に意見書を出したら、
期限を切って回答をもらうべき

質疑 北山議員

監査委員は意見書を出してその回答を貰っているのか。毎年、ほとんど同じような指摘がされている。標準の監査基準では、監査委員の意見には適宜、町から回答を貰うかたちになっていると思う。されていないのであれば期限を切って理

事者の回答を頂ければと思います。監査委員の方針を聞きたい。

答弁 青木代表監査委員

期間を持って確認したい。

**弁 上水道送水管整備計画は
再来年、早い時期に策定したい**

質疑 永本委員

監査意見書で送水管の耐震化・補強化を図るとあるが、どういふふうにするのか。

ジョンをこしらえたい。

質疑 北山議員

監査委員の指摘した送水管の耐震化・補強化を図るビジョンはいつできるのか。早急に計画して29年度完成すべきと考えるがどうか。

答弁 中林水道課長

日和佐の水源池では、耐用年数10年の機械が33年にもなる。水道管は铸铁管で、耐用年数40年だと7年となっている。料金の改定とも絡んでくるので、水道ビ

答弁 中林水道課長

遅くとも平成29年度には策定したい。

**弁 悪質な滞納者に対しては
給水停止措置を、事務的に進める**

質疑 永本委員

水道料金滞納が約9百万円。これは問題。給水停止ではなく、話をして納めてもらうようにならないか。

止したらと、強く言われている。交渉し未収金を少なくしたいが、回収しても前年度の未収金が多くて過年度未収額が増えていく。やむを得ない場合は給水停止の事務手続きをする。

答弁 中林水道課長

監査委員の指摘で給水停

答弁 影治町長

未収金は水道に限らず、徴収には努力している。死亡・居所不明等は欠損処分し、悪質なものは監査委員指摘の給水停止もあり得る。

質疑 永本委員

未納者の人数はどれぐらいか。

答弁 中林水道課長

平成27年6月30日の定例監査のときの資料で157件。

質疑 永本委員

これは、水道課長というよりは町長を筆頭に努力して頂いて数を減らしてもらいたい。157人、これは一つの団体じゃないか、これでは困る。

質疑 北山議員

悪質と思われる人はどれぐらいいるのか、その人数を教えてください。

答弁 中林水道課長

一番悪質なCランクの件数で38件です。

質疑 北山議員

悪質な38件に対し監査委員指摘通り実行するのか。また、町長の考えはどうか。

答弁 中林水道課長

今年度は事務的に段階を

答弁 影治町長

上がってきたときに判断したい。

答 弁
店じまいが加速している。町は新たな起業を進める制度を立ち上げた、常に活性化政策を考えていきたい

質疑 永本委員

最近、商店の店じまいが進んでいる。親しまれた商店がなくなり生活文化が変わってくる。町長どう考えているのか。

答 弁 影治町長

後継者がいないため店を閉めると感じている。町としては、新たに起業して頂くような取り組みによって町の活性化を図りたい。年に2件ずつ相談もあり、新たな商店が生まれてきている。今後も商工会とも相談しながら政策を考えたい。



文教厚生委員会決算審査

質疑 使用料の収納順で監査委員の指摘と、 課長答弁のくいちがいは

【質疑】 戒野委員

監査委員から「公営住宅・更新住宅の古い使用料を未納にしたまま支払いを続けている利用者が見受けられるので、本人とも相談し、古い使用料から整理願いたい」と指摘されている。消滅の時効にかからないよう古い使用料から貰うことが常識と思うが、どうなっているのか、経過と一緒に説明願いたい。

【答弁】 山本住民生活課長

回収は、順次収入している。また年2回、5月と12月に督促状を発行し、本人面談等を行って徴収に努めている。去年、貸付金元利収入として22万4968円を収入した。

【質疑】 戒野委員
監査委員は、公営住宅の

使用料、改良住宅・更新住宅を含めて現年度分は23

8万円、過年度分が926万円、合計1165万円の未収があると指摘して、古い使用料から整理を願いたいと書いています。新しい現年度分を貰って古いのはそのまま置いてあるということとはなかったのか。

【答弁】 山本住民生活課長

新年度分からではなく、古い分から徴収している。

【質疑】 戒野委員

それは、現年度分ではなく過年度分から貰っていくべきだと考える。また町住の滞納額は1165万円で非常に高額な金額になっている。欠損にならないように対応を願いたい。

合計戸数164戸、未収滞納額1,165万3,800円（現年度分238万円 過年度分926万円） 39人

	住宅別	団地名	戸数	家賃	未収滞納額	人数
日 和 佐 地 区	公営住宅	大久保団地	20戸	所得等による	277万2,600円	6人
		西河内団地	7戸		57万6,700円	6人
		北河内団地	10戸		87万2,600円	3人
		井ノ上団地	4戸		50万6,400円	2人
		櫛ヶ谷住宅団地	44戸		111万8,500円	8人
	小集落改良住宅	赤松団地	4戸	10,000円/月	0円	
		井ノ上団地	2戸	1,200円/月	9万5,600円	1人
		天神団地	2戸			
	更新住宅	井ノ上団地	18戸	10,000円 (一部所得による)	425万8,900円	9人
		天神団地	22戸			
由岐地区	公営住宅	西の地団地	20戸	所得等による	57万2,500円	2人
		伊座利団地	2戸			
	若者住宅	西の地団地	8戸	入居年齢等による	88万円	2人
		木岐団地	3戸			

「平成26年度 美波町一般会計及び特別会計歳入歳出決算審査意見の提出について」より

(決算審査、監査の意見より)

	滞納・未収金額
住宅新築資金等貸し付け償還金	2,943万円
国民健康保険税	2,702万円
簡易水道料金	870万円
介護保険税	145万円
固定資産税	4,579万円



質疑 戎野委員

養護老人ホームで、入所に合わせて措置費額が決まってくる。

措置費の上に負担金を出している海部老人ホームはどういうふうな区分けで支払っているのか。

答弁 島田保健福祉課長
交付税措置をされている措置費は、全額町負担である。1人当たりの単価は、盲人にまで手厚く対応している特別な施設は高くなっているし、施設ごとにバラバラである。

海部郡各町共同で設けている海部老人ホームと海南荘には負担金を払っている。町外の施設は特別な負担金は払っていない。



養護老人ホーム入所措置

美波町からの入所者数

施設名	ヒワサ荘	海部老人ホーム	福寿荘	羽ノ浦荘	松寿園	白寿園	計
入所者数	23人	7人	1人	4人	1人	2人	38人

措置費							
施設名	ヒワサ荘	海部老人ホーム	福寿荘	羽ノ浦荘	松寿園	白寿園	計
措置費	4,693万 9,518円	1,499万 1,144円	182万 5,830円	1,225万 6,702円	234万 9,167円	392万 2,575円	8,228万 4,936円

(平成26年度 主要施策の成果に関する説明書 -美波町資料より)

老人福祉施設への負担金

- ・海陽町の特別養護老人ホーム海南荘へ（事務組合分担金）
506万3,000円（入所者0人）
- ・牟岐町の海部老人ホームへ（町村組合負担金）
1,488万9,000円（入所者7人・約212万円/人）

答弁 寺内教育長
平成26年度中の不登校の状況は中学生3人、不登校という数の中には出ていないが病気・体調不良のため登校していない中学生が5人いた。

質疑 戎野委員
町内小中学校について、昨年、対策を講じた成果として、不登校や保健室登校等の生徒はいなかったと理解しているのか、説明願いたい。

答弁 不登校は8人
(病欠含む)



文教厚生委員会審議（9月11日開催）

美波町立病院・美波医療保険センターの運営と経営を審議

全委員出席（6人） 委員外議員 6人
傍聴者 18人

磯野総務企画課長

美波病院の補正額が約1億3922万円。内訳は、病院の総合情報システム（電子カルテ）導入700万円、工事費、約5019万円追加し、病院内の照明をLEDとする。

外構工事、約1056万円追加し、本体工事とは別に発注。
残土処理等は、約3752万円で、町外で処分する。造成工事は、病院周辺の造成で1270万円追加。設計管理委託料は、約632万円を追加。

美波病院の建設総額は、26億9622万4千円となる。病院の進捗度は、12月20日を目途に外構工事等は、

一部完成し、医療機器やその他の物品等の搬入を開始する予定。
外構工事は2月1日を目指して工事を行う。
医療保健センターは、事業費補正で、工事に当って周辺の家屋調査が約621万円、井戸水などの水質調査で約205万円を計上。
追加補正で約8559万円、総額は約15億3468万円。
美波病院職員の内示は38人で、院長と医師2人、総看護師長1人、看護師長1人、看護師24人、臨床検査技師2人、薬剤師2人、放射線技師については新規募集で1人採用予定。理学療法士も新規採用2人を決定、10月1日採用で由岐病院に

配属、管理栄養士1人、事務長1人となっている。

次に医療保健センターの診療所関係で、14人を内示し、所長1人、看護師長1人、看護師7人、臨床検査技師1人、薬剤師1人、放射線技師1人、理学療法士1人、事務長1人となっている。

「美波町の整備方針」の中で常勤医師5人、非常勤医師1・5人（常勤換算）という形で計画している。

新美波病院の目標を入院患者は月平均43人、外来は105人で、資金繰りには困らない試算になっている。
医療保健センターは外来だけの収益で非常に厳しいが、外来患者100人以上を目標としている。



問 看護師に対する不満は、総看護師長を招いて教育をお願いしている

質 疑 江本委員

答 弁 木本由岐病院事務長

住民から由岐病院・日和佐病院の看護体制にかなりの批判がある。看護師の評判があまり良くないという話を聞く。建物が良くなっても中身が伴わなければ、病院には行く気にならないと思うが、その取り組みは、
看護体制については、5月から看護総師長として元共栄病院の看護副部長だった方を招いている。不満の多いのは、重々分かっている。そこを教育して、患者さんにやさしい病院を作るという趣旨でお願いしている。

職名	美波病院	日和佐診療所
院長	1人	1人（所長）
医師	2人	
総看護師長	1人	
看護師長	1人	1人
看護師	24人	7人
臨床検査技師	2人	1人
薬剤師	2人	1人
放射線技師	新規1人	1人
理学療法士	新規2人	1人
管理栄養士	1人	
事務長	1人	1人
合計	38人	14人

答 弁 診療待ち時間の短縮対策には、電子カルテ導入で、診察時に再診の予約が出来る。医師が各部署に指示が出来るので診療時間が早くなる

質 疑 江本委員
新病院になつての予約等による時間短縮について説明されたい。

う待ち時間が変わるのか。再診察の予約が出来るのか。また初診でも電話予約出来るのか。

答 弁 橋本特定事業調整監
診療待ち時間の短縮は、電子カルテを含む病院総合情報システムを導入することで、検討する。

答 弁 橋本特定事業調整監
再診の予約診療はできる。電話予約は、今のところ出来ない。電子カルテを導入することで、ドクターの指示が会計や薬局、検査等に届くので早く診療が出来る。

質 疑 戎野委員
情報システム導入で、ど

答 弁 美波病院への連絡バスは
来年3月1日には運行する



質 疑 戎野委員
美波病院へ行く連絡バスの運行は、どうするのか。運転手の配置も含めて、由岐搬送班が従事するのか。

答 弁 影治町長
連絡バスの運行については、まだ決まっていない。新病院と医療保健センター間、新病院と由岐支所間の連絡バスを、ピストン運行

したい。運転手等搬送班については、現在「あり方検討委員会」に諮問をし、答申を受けてからと思つている。バスは、デマンド実証実験に使つた車を使う。運行時間は30分か1時間に1本とかで来年3月1日には運行できるようにしたい。

質 疑 戎野委員

連絡バスは、拠点(駅・役場)を循環するコースを作り時間設定をして、利用しやすい配慮をしてはどうか。

答 弁 影治町長

デマンドバスの使用頻度について効果がなかったと報告を受けているので、タクシー補助による交通を確保したい。
循環バスは、難しい。

美波病院への連絡バスを確保する。

周辺部の人にはタクシー助成をもう少し使いやすく安価な金額で利用できるよ

う考えていく。
由岐地区については非常に細長い地形なので、今走つている阿南バスは、そのまましばらくの間続け、それを補完するようなタクシー助成事業を充実したい。

質 疑 戎野委員

今の答弁は、連絡バスとタクシー助成を使い、予約によるデマンドバスはやらない。またタクシー助成制度充実し、使いやすいうにする」と理解していいのか。

答 弁 影治町長

そう理解して結構。

答 弁 診療や薬の待ち時間を表示板等で知らせることは考えていない

間を少なくするということが、それらを掲示板等で表示してはどうか。

答 弁 橋本特定事業調整監
表示の部分は今のところ考えていない。大きな病院では、待ち時間や患者の薬番号を表示しているが、今のところ検討していない。

質 疑 戎野委員

日和佐病院では、診療番号を示し、大まかな時間が分かるようなサービスをしているが、それもやらないのか。

答 弁 橋本特定事業調整監
今のところ考えていない。

質 疑 戎野委員

情報システム(電子カルテ)を導入することで、診療の待ち時間や薬の出す時



完成間近い美波病院

併 医療機器以外の備品及び業者に
答 ついては選定作業をしている

質疑 中川委員

医療機器以外の備品（調理設備等）はどうなっているのか。業者は、どんな予定になっているのか。

答 併 橋本特定事業調整監

医療機器の他（机・待合室の椅子・給食の配膳等）全部含めて今、検討している。業者については、選定作業を進めている。

併 美波病院では
患者の院外処
方要望に対す
る検討はする

質疑 岩瀬委員

薬について、美波病院では院内処方だけなのか、患者の要望によっては院外処方もあるのか。

答 併 橋本特定事業調整監

美波町立病院整備方針では、院内処方の方向で検討している。

院外処方箋を出すことは、この電子カルテの中で出来るように検討する。

併 海南病院での
年間3億円の
赤字状況は伺
っておく

質疑 永本議員

海南病院では年間3億円の赤字と聞く。他町のことであっても調べておく必要があると思うが、どうか。

答 併 影治町長

それはまた伺っておく。



併 美波病院の運営について償却資産計上
による赤字については一般会計からの
繰り入れは考えていないが、運営上の
赤字については議会と相談しながら一
般会計から繰り入れていく

質疑 向山議員

償却資産どれぐらいあつて、毎年償却額がどれぐらい必要なのか、試算しているのか。

再診の場合、電話での予約はできるのか。

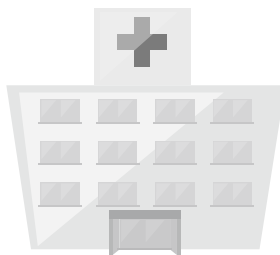
答 併 木本由岐病院事務長

再診の場合は先生が診察時に予約を入れるようになる。医師の了解のもと、予約を入れるということ。

答 併 影治町長

町内の人には町内の病院を使って頂けるよう、住民に対してやさしい病院を目指したい。償却資産に対して書類上計上されて赤字となっていく。

その分に対して町の一般会計から繰り出しをする考



併 診療所の薬処
方は「院内処方
にきめていたが、
今、検討中」

質疑 戎野委員

今まで院外だったのをどういうデメリットにより院内に変えるのか、また利用者にとって院内のメリットはなにか、住民に対して説明はするのか、しないのか。

答 併 岡本日和佐病院事務長

医療保健センターの完成は、美波病院より1年ほど後になる。

新しい施設で診療を開始するまでは、旧日和佐病院の1階外来機能を使って診療所業務を1年間続ける。

その間は古い機械を使って診療するので、職員の配置や診療・処方体制も含めて、現在検討中。

質疑 戎野委員

電子カルテの導入で、希望すれば院外処方も、できるといふことだが医療保健

センターが開院したら院内処方になるのか。

答 弁 岡本日和佐病院事務長
今配置されている職員で

どんなことができるか、医療体制や訪問診療等いろんなことを考えると、職員不足から人件費の抑制に絡み薬局に関していまま、検討をしている。1年先に美波病院の運営が始まるので、その状況を参考にしたい。

答 弁 影治町長
日和佐診療所は、院内処

方の方向で行くことは決まっているが、不具合を検討中で、もう少しすれば示せる。

質 疑 戎野委員

その結論はいつ頃であるのか、またアンケート等で利用している人たちの要望を把握した事があるのか。

答 弁 岡本日和佐病院事務長
要望の把握については、アンケート等は取っていない。早く結論を出したい。

弁 薬が同じなら院内処方が 答 院外処方より安い

質 疑 戎野委員

利用者にとつての院外処方から院内に変えるメリットは。診療所にとつての財政的な問題は。

答 弁 影治町長

院外処方と院内処方では患者が払う金額は院外の方が院内に比べ高くなる。(同

じ薬を処方して、院内だと720円、院外の場合は1870円になり差は1150円高くなるが、後期高齢者はその1割が負担になる) 今回、院内を選んだのは、入院が無くなり、外来だけで収支を改善したいからである。

医師が薬剤師からアドバイスを受けられるのと、患者が遠くに行かなくていいという利点がある。日和佐病院が診療所になったときに、院内処方にすると実施計画で決められている。

質 疑 戎野委員

地域の薬局が撤退の可能

弁 同じ病気の場合、 答 治療費は診療所の方が高い

質 疑 戎野委員

特定疾患で受診した場合、診療所と病院では料金が違うと聞かすが、事実かどうか。

答 弁 岡本日和佐病院事務長

特定疾患の療養管理料という診療報酬の点数のことで、診療費が診療所にかかるのと病院より高くなるのは事実。(診療報酬の金額で言うと1割負担の人と同じ病気の場合80円高くなるので3割の人だと240円高くなる)

性が生じ、働く人の問題や薬局がなくなつてデメリットが考えられるが、そのことも含めて検討したのか。

答 弁 影治町長

その会議で議題が上がつたかどうかは承知していない。

答 弁 山路副町長

協議段階で、その時期は新年度になるが、人事配置について最終的な調整を図っている。

質 疑 寺下委員

医療保健センターが15億ぐらいになっているがその財源内訳は。

質 疑 寺下委員

基本設計の2階平面図では保健センターが狭い気がするが、基本設計から実施設計が変わるとき変更があつたのか。

答 弁 磯野総務企画課長

今回は、都市再生の総合整備関係の補助を頂く。保健センターの外構以外にも周辺の道路も含めて計画に入れている。

答 弁 岸本企画課長補佐

建物のサイズが決まっている中で診療所と共有部分等の検討を重ねた結果の図面である。

国庫支出金で5億4千万円程度、残った10億円の借り入れは病院債と過疎債の2分の1ずつで、あとは、すべて過疎債になる。

質 疑 寺下委員

平成29年4月から保健センターが開院になり、保健

議長の主な活動状況 (平成27年6月定例会～平成27年9月定例会)

- ◆6月23日 美波町老人大学開校式
- ◆7月24日 岩手県北上市議会来町
サテライトオフィス誘致による地域活性化について視察
- ◆7月30日 長野県佐久市議会来町
サテライトオフィスの取り組みについて視察 (副議長が対応)
- ◆7月31日 徳島県町村議会議長定例会
- ◆9月9日 美波町敬老の日の式典

◆ 各議員の出欠状況 (平成27年6月定例会～平成27年9月定例会) ◆

出席…○ 欠席…× 委員外出席…△ 委員外…ー

日付・会議等		議 員 名											
		舩田 邦人	岩瀬 公	江本 昇	北山 朝彦	川尻 竹藏	松本 晋児	永本 善次郎	寺下 博子	戎野 博	向山 篤宏	丸龍 孝敏	中川 尚毅
6月15日	総務産業建設委員会	○	△	△	△	○	○	○	△	△	○	○	△
16日	文教厚生委員会	ー	○	○	○	△	△	△	○	○	△	ー	○
22日	議会広報特別委員会	ー	ー	ー	○	ー	ー	○	ー	○	ー	ー	○
26日	テレビ中継特別委員会	○	ー	ー	ー	ー	○	○	○	○	×	ー	ー
7月6日	議会広報特別委員会	ー	ー	ー	○	ー	ー	○	ー	○	ー	ー	○
13日	議会広報特別委員会	ー	ー	ー	○	ー	ー	○	ー	○	ー	ー	○
15日	議会広報特別委員会	ー	ー	ー	○	ー	ー	○	ー	○	ー	ー	○
16日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21日	議会広報特別委員会	ー	ー	ー	○	ー	ー	○	ー	○	ー	ー	○
22日	平成27年度前期 徳島県町村議会議員研修会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24日	議会広報特別委員会	ー	ー	ー	○	ー	ー	○	ー	○	ー	ー	○
27日	議会広報特別委員会	ー	ー	ー	○	ー	ー	○	ー	○	ー	ー	○
28日	議会広報特別委員会	ー	ー	ー	○	ー	ー	○	ー	○	ー	ー	○
31日	議会広報特別委員会	ー	ー	ー	○	ー	ー	○	ー	○	ー	ー	○
8月3日	議会広報特別委員会	ー	ー	ー	○	ー	ー	○	ー	○	ー	ー	○
21日	自治振興セミナー	ー	ー	ー	ー	ー	○	ー	○	ー	ー	ー	ー
27日	議会報告会・意見交換会 (商工会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28日	町村議会広報紙作成講座	ー	ー	ー	○	ー	ー	○	ー	○	ー	ー	○
29日	議会広報特別委員会 報告会 (日和佐地区)	△	ー	ー	○	ー	ー	○	ー	○	△	ー	○
30日	議会広報特別委員会 報告会 (由岐地区)	ー	ー	ー	○	ー	ー	○	ー	○	△	ー	○
9月3日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会	△	△	○	△	△	○	△	○	○	○	○	△

※ここでは本会議、委員会、議会の議決による派遣、その他議長が参加・出席を要請した活動のみ掲載しています。

9月定例会 提出議案の一覧と審議結果（議員の賛否）

賛否の分かれた議案

◆各議員の賛否

議長…◎ 賛成…○ 反対…× 欠席…欠

議案	議員名											結果	
	舩田邦人	◎岩瀬公昇	江本昇	北山朝彦	川尻竹藏	松本晋児	永本善次郎	寺下博子	戎野博	向山篤宏	丸龍孝敏		中川尚毅
手数料条例の一部を改正する条例 (マイナンバー制)	○	—	○	○	○	○	×	○	×	○	○	×	可決
個人情報保護条例の一部を改正する条例 (マイナンバー関連)	○	—	○	○	○	○	×	○	×	○	○	×	可決

※議長は賛否の意思表示をすることが出来ません。

採決の結果、可否同数となった場合は議長が採決権を行使します。(過半数議決の場合)

反対討論

●戎野議員

「個人情報、国によって管理され、プライバシーが侵される。莫大な経費と負担を要すること、情報漏洩が防げないこと、被害補償を誰がとるのか。受任事務とはいえ見直すべき制度である。マイナンバー法の中止と番号の通知延期を求める。」

賛成討論 なし

◆全会一致の可決議案

認定・報告・議案

◆認定第 1号	平成26年度公営企業会計決算
◆認定第 2号	平成26年度歳入歳出決算
◆報告第 7号	平成26年度決算における健全化判断比率
◆報告第 8号	平成26年度決算における資金不足比率
◆議案第51号	専決処分報告
◆議案第54号	平成27年度一般会計補正予算（第4号）
◆議案第55号	平成27年度国民健康保険事業特別会計補正予算
◆議案第56号	平成27年度簡易水道事業特別会計補正予算
◆議案第61号	平成27年度病院事業会計補正予算
◆議案第62号	損害賠償の額の決定

一般質問

1 日和佐川河口部に可動防波堤の建設を

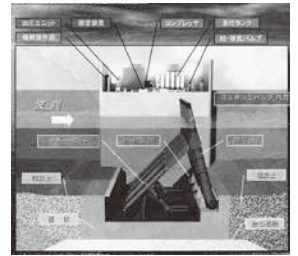
弁 可動防波堤の新技术に期待し研究の進化を
答 注視する



議員 永本善次郎

国が発表した南海トラフ三連動地震の被害想定はレベル2、千年に一度の大地震を想定したものである。これに対し徳島県が現在行っている大浜海岸、及び戎地区の防波堤改修工事はレベル1、百年に一度発生する南海地震を想定したものである。これでは南海トラフ三連動地震発災の場合、住民の避難行動に大き

な迷いを生じる。中途半端な防災工事はかえって工費の無駄遣いになる。戎地区の防波堤改良工事では延長650mにわたって眼前に3mから5mのコンクリートの壁に囲まれ、まるで刑務所の壁の中に居るような庄迫感のある生活を連日送ることになる。観光立町を揚げて来た本町としては大きなイメージダウンになる。現行工事の大きな弱点を解消する工法として大津波を海岸線でくい止めるフラップゲート式可動防波堤の建設を徳島県に要請するべきだ。この方式の特長として「工費が安い・川底に設置するので周辺の景観を



フラップゲート式防波堤全体図

乱さない・船舶の航行に支障がない」などがある。海岸線で大津波をくい止めることによって公共・民間の施設の移転、高台開発の必要が無くなる。最大の効果は1000人以上の人命が救われる。正に現代の魔法のゲートである。現在進行中の防波堤改良工事の扱いをどうするか等、問題点は残るが研究機関や国の動向など十分注視しながら津波の河川遡上を防ぐという大問題の解決に向かって取り組むべき時ではないか。

●影治町長

今回議員提案のフラップゲート式防波堤の新技术は非常に期待できるものと思う。徳島県の意向では和歌山県海南市で行われた円筒浮上式防波堤の計画断念を

踏まえて、現時点では導入の考えはない。今後の技術進歩を注視していくと言う回答があった。本町としては防災・減災の効果が期待

される新たな防災技術については、研究機関や国の動向に注意して、県と情報を共有しながら防災対策に取り組んでいく。

2 児童の農山漁村の体験推進を

弁 担い手組織支援を企画サイドと協議する
答

質問

本町として農山漁村の高齢化・担い手不足・産物の価格低迷により、疲弊していく状況を手をこまねいて放置することはできない。本町の恵まれた自然環境を活かして宿泊体験など、受け入れ地域の活性化に寄与させるべきではないか。

●小坂産業振興課長

本町では農業従事者の平均年齢が県下の最高であり、若い新規参入者はごく僅か、商工業でも後継者不足に苦しみ、産業面でもコミニティー面でも、そのサイズがどんどん縮んでいる。こ

のような状況ではこの概算要求の内容が我々にとつて使いやすい制度になったとしても、事業の受け皿や主体となる地域や団体がいない。地域の底上げ再生等に積極的に取り組める余裕や仕組みが役員内にはない。したがってこの事業の総合戦略での位置づけは極めて難しいと思う。現時点で私どもに把握できていない実施主体や、これから形成される新たな担い手組織が能動的に事業に取り組む場合、既存の制度では的確な支援が出来ないことが考えられる。この場合、新たな支援が出来るのか、企画サイドと協議する。

①電力小売り自由化に向けて、町施設への利用拡大と自然再生エネルギーの活用は

弁 答 電力需要の大きな役場本庁などから、多様な契約を判断していく



議員 博 戎野

由化されることから、多様な契約が考えられる。内容を把握したうえで判断していく。

質問 2016年4月からの電力小売りの自由化が始まるが、四電よりも安いといわれる新電力会社（PPS）からの電力購入へ契約を見直す考えはあるのか。

自然再生エネルギーの「地産地消」による雇用創出、地域おこしに取り組み考えは。

●磯野総務企画課長

新電力事業者が参入している県内行政機関は徳島県と鳴門市である。来年には家庭向けの電力小売りも自

町が支払う電気料金の平成26年度の総額は7800万円、もし、仮に5%安くなるのであれば390万円の料金が軽減される。施設的には電力需要の大きい役場本庁（年間電力料金625万円程度）といった、大規模施設からと、考えている。

再生エネルギー関連では、各家庭への太陽光パネル設置補助金として、最大30万円の補助を行っている。バイオマスや小水力発電などが美波町でも可能かと、考えられるが、まだ課題も多く、情報収集に努めていく。

②美波病院及び医療保健センター（日和佐診療所）の運営、院内・院外処方への負担、通院バス運行、医療サービスの充実

弁 答 連絡バスを走らせる



デマンドバスの実証実験に使われた10人乗りワゴン

観光客にも使える巡回バスに由岐搬送班を活用して、取り組む考えはないのか。

③診療の電話予約や待順表示などのサービスの提供や医療スタッフの継続的な拡充への取り組みは。

質問

①院内処方のメリット・デメリットを説明して進めていくべきではないか。

②希望者には薬の院外処方を選択制を取っていくことが可能なのか。病院と診療所を結ぶ連絡バスの運行だけでなく、通院、買い物、

●磯野総務企画課長

長病院開院に伴い、病院と診療所間に連絡バスを走らせる予定。加えて、由岐支所前と病院間にも走らせる。現在のタクシー料金助成制度の拡充を検討したい。

質問

「診療所」で受診する場合、特定疾患において病院より診療所のほうが一部負担（療養管理料等）で、高くなるとのことだが、負担を軽減させる方向で解決できないのか。

●影治町長

指摘の通り、特定疾患の療養管理料が病院と診療所で変わってくることで、同じ住民の中で差ができ公平でなくなってしまうが、既に阿部診療所では負担していただいているので、理解していただきたい。

③町税、使用料の滞納・不納欠損処理、徴収について

また患者が「院外処方」を希望した場合、処方箋を渡せるように検討したい。

① 九月一日実施の施設防災訓練は毎年同じことの繰返して実効が上がっていない。「地域防災計画」を十分会得し、これに沿って実効のある訓練を行うべきではないか

弁 「地域防災計画」に基づいて実効ある訓練を実施するようにする



議員 北山 朝彦

報告を私が取りまとめたものである。

● 近藤防災課長

報告事項については、团长、副团长中心に幹部の方に報告して来年の訓練の検討材料にしている。

質問

事実でないことを町民に報告しておいて「团长からの報告のとおりしたんだ」と平然と答弁する。「少しおかしい」と思う。再度答弁ください。報告事項については「团长、副团长に報告している」というが、私の聞いたのは、「町はその報告をどのように活用しているのか、結果をどのように

● 山路副町長

「事実と異なる」という件については、課長からの

に検証しているのか」を聞いたが、今の答弁では検証はしていないと理解せざるを得ない。それでいいのか。地域防災計画には「訓練終了後にその検証を行い防災

対策の課題等を明らかにするとともに改善措置を講じるものとする」と書いてあり、その計画どおり実践すべきだ。

② 災害時、各避難場所から救急救命を求めると連絡の必要性は非常に高い。町はその連絡先と有効な連絡機器を確保して各避難場所に配備し周知すべきではないか

弁 二次避難所に指定されているところには、そういった連絡機器の配備を今後、考える

質問

災害時避難場所には、崩れた家屋にはさまれた人、避難途中大けがをした人、命からがら、たどり着いた人達の救助救援はどこに連絡すればいいのか、また通信機器は何を使えばいいのか。

れる。确实とはいえないが携帯よりはつながりやすい。各町内会あるいは自主防災会で補助金や運営費を活用して検討されたい。

質問

救助を要請する先は町であるというのはどういうことか、また「集会所に置くことを検討する」とあったが、集会所とは何を指すのか。「自主防災会に出してある補助金8万円を使え」

● 近藤消防防災課長

避難場所からの連絡手段はデジタル無線機が考えら

という話だが、それは他に使い道がいくらでもあり、足りない。「地域防災計画」には、「避難場所の施設整備に努める」として、「衛星携帯電話など通信機器」と特記されている。なお消防防災課でも、かつて「各自主防」にも配備していたと言っていた。よく検討して早急に配備されたい。

● 近藤消防防災課長

集会所とは、大雨・台風時に開設する町内13か所の避難所のことです。

質問

避難場所からの連絡先は「災害対策本部」でないのか、津波災害時、各避難場所と対策本部とが密接に連絡できることが最も大事なことである。再度、避難場所に通信機器の配備を願う。

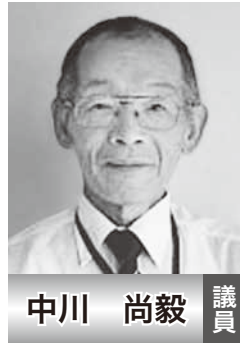
● 影治町長

2次避難所に指定されているところには、そういった通信機器の配備を今後考えている。

① 個人情報保護対策は

答 弁

データセンターで厳重に管理されている



中川 尚毅 議員

質問

個人情報保護の対策がとられているか。
マイナンバーが流出した事故による損害に対する補償は考えているか。
マイナンバーは中止の決断をすべきだが。

● 磯野総務企画課長

前年度に基幹システムをクラウド化し、データセンターで厳重な管理が行われ、安全性は確保されている。マイナンバーの情報漏えいが、行政機関に責任がある場合は、賠償しなければならぬ場合もある。しかし、全国の行政機関のシ

個人番号カード



表面 氏名、住所、生年月日、性別、本人の写真

裏面 マイナンバー等が記載、ICチップ搭載

ステムは高度なセキュリティとなつている。美波町でも高度な情報管理を行っており、その可能性は低い。町でのマイナンバーの延期

中止等は考えていない。

データを管理する機械を高知県にあるデータセンターに移設している。災害時等にデータの保管、管理を専門職員が管理するので、すぐに対応ができる。町の広報等で何回か広報して周知している。職員の研修会をして、保護に努めたい。

② 国民健康保険料の軽減は

答 弁

軽減制度は実施しており、国税の減額は考えていない

質問

約1700億円のうち、本町へ配分される財源は。また、予算に計上しているか。国は「1入あたり年額約5000円の財政改善効果」（保険料の軽減）があるとしているが、保険料を引き下げる予定はあるか。

● 島田保健福祉課長

本年、改正国保関連法を受け、財政運営の都道府県化に伴い、財政支援を行う



基盤安定保険者支援制度の補助率を引き上げるとし、平成27年度から公費分は659億円（うち市町村分は659億円）が増額されている。交付額が確定していないことから、予算化は平成28年3月以降。国保の減免制度は、条例で減免項目を規定しており、昨年度減免世帯数は、旧被扶養者減免として3世帯。国保税の減額については、国保加入世帯の所得に応じ、均等割り額及び平等割り額

③ 診療所は診療代が高くなるが

答 弁

説明会はしない

質問

特定疾患療養管理料を、由岐病院と診療所を比較した場合、780円の格差がある。この差は、非常に不公平だ。町長は住民に対して説明会をするのか。

● 影治町長

戒野議員に答弁したとおり（説明会はしない）。

全国の広報誌に学ぶ

読んでもらえる美波町『議会だより』をめざして

平成27年度町村議会広報研修会が、10月20日(火)、21日(水)の両日、全国から約1000人が参加して、東京千代田区の砂防会館で行われ、3氏の講義を広報委員が受けた。



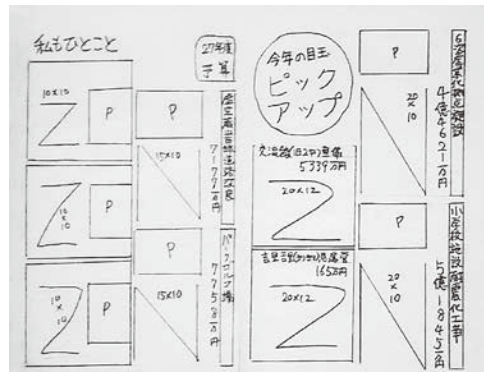
前半は小田順子氏（柏崎市広報専門官）の「伝える広報から伝わる広報へ」という講演だった。伝わりやすくするために、難解な役所ことばを使わない、文は短くする、結論を先に書く、見やすい一覧表を使うなど、具体的な例を示しながら話された。

後半は畠田千鶴氏（月刊「地域づくり」副編集長）の「思わず手にとる読みたくなる議会だよりを目指して」と題して、誌面の工夫・改善について話された。

全国コンクール

一位 川西町、二位 大山町

2日目は議会広報サポーターの芳野政明氏が、前半、



- 『川西町議会だより』編集方針 ②
- 4、写真は1記事に最低1枚は載せ、2段以上の写真とする。関連ある写真を選び、キャプションも記事に関連のある表現とする。
 - 5、記事は簡潔な表現となるように努め、文章の基本である主語述語を適切に、5W1Hも忘れずに、読み手を第一に考えて書くこと。
 - 6、町民参加の拡大として、広報モニターからの「ひとこと」、インタビュー「町民の声」その他町民参加の記事をできるだけ多くする。

大山町（鳥取県）の議会だより（第二位）をとりあげて話された。ここも常任委員会と

して活動していること、議員が自ら制作していること、見やすくするために写真や表などを多くしていることなど、具体的に話された。

後半は川西町（山形県）の議会だより（第一位）について、参加者の質問も受けながら話された。ここも常任委員会として活動していること、議会の初日から編集を開始し1ヶ月で発行している事などを紹介した。さらには見やすくするために、写真や文章などの編集に、住民の中からアドバイザーとして6人、広報モニターとして8人の方に委嘱していることなど、住民と共に議会だよりを作っていることが話された。

今回の研修を通じて多くを学ぶことができた。

今後良いところを見習い、「議会だより」を更に良くしたい。

町政を議会がチェック！ 議事を町民がチェック！

参加自由

美波町議会広報特別委員会

議会だより報告会開催

9月議会・「議会だより第38号」の詳しい質疑の説明・報告会を開催します。
分かりやすい議会広報へ向けて皆様のご意見、要望を頂きたいと思っております。

由岐地区

日時 11月28日 ㊦ 13時半～16時

場所 由岐公民館2階 (和室)

日和佐地区

日時 11月29日 ㊦ 13時半～16時

場所 日和佐公民館1階 (会議室)



しなごころ

なに



用語解説

地方交付税

地方交付税法によって、国税（所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税）の一定割合の額が地方公共団体に交付される。一定の行政水準を保つために、地域ごとの違いをなくすために交付される普通交付金と、災害などに交付される特別交付金とがある。平成26年度は、決算で歳入総額66億円あまりのうち、地方交付税は33億円弱で、歳入の半分を占める。歳入にはこのほか国及び県からの交付金などもある。

基金

地方公共団体（町）が特定の目的のために、財産を維持し、資金を積み立て運用するための財産。集落排水・公共下水道や簡易水道、介護保険・後期高齢者保険、国民健康保険、奨学金など10の特別会計があり、それぞれに基金（積み立て運用金）がある。

実質公債費比率

自治体の収入に対する借金返済の割合。3年間の平均値で、18%以上だと、新たな借金をするためには国や県の許可が必要。25%（早期健全化基準）以上だと借金を制限される。平成26年度、美波町は6.1%（約7億円が借金返済に充てられた）。

頑張る人!!
地域の魅力を掘り起こせ



徳島県南産の魚介を、間伐材として出た山桜の原木をウバメガシの木炭でじっくり燻しあげた、本格スモークを製造販売しています。代表の濱真一氏は徳島市内出身で、沖縄県石垣島で海ぶどうの養殖を行った後、5年前に日和佐に移住してきました。今後は首都圏に対面販売を中心とした販売網を拡大していく予定です。

編集後記

北山広報委員長が病気(入院リハビリ中)のため、残りの3人で委員長の分まで頑張ってみたものの、その大変さに、頭が下がる思いである。

他市町村ではタブレット端末を駆使し、広報専用のパソコンを使い、議会閉会后1ヶ月で発行を目指している。「議会だより」に、広報アドバイザー(文章と写真)やモニターとして町民に参加してもらおう町が増えてきた。

一日も早い北山議員の回復を願うとともに、委員長の苦勞が分かった8回目の編集会議であった。(編集委員: 戎野 博)



● 議会広報特別委員会 ● (お問い合わせ・ご意見は TEL: 77-3630へ)
委員長: 北山 朝彦 副委員長: 永本善次郎 委員: 戎野 博・中川 尚毅